

自己評価結果公表シート

【法人理念】

「大慈愛心」親が子に抱くような慈しみ愛する心
大きな慈愛の心をもって皆様と向かい合います。

【保育理念】

「仏教」を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される園を目指します。

【保育目標】

「健やかな心」を育てるために

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1. めぐみの心を持ち、命を尊重する子 | 《生命尊重》 |
| 2. 善悪を見極め、絶えず正しい方に進む子 | 《修善》 |
| 3. 自分の立場を考え、他と協調できる子 | 《協調》 |

【評価項目の達成状況】

No	評価項目	職員の自己評価ポイント平均 (3点満点)	
1	社会福祉法人 三宝会の理念「大慈愛心」	2.40	
2	園の保育理念「仏教（生命の尊重）（修善）（協調）」	2.16	
3	各保育方針について 様々な環境を考慮し、選択肢などを与え、子ども自ら考える機会を作り「子どもの主体性を育む環境づくり」 子どもの生活、遊びを考慮し、「子どもが安心して過ごせる環境づくり」 一斉保育と違い、ひとり一人丁寧に接していく「乳児保育担当制」 「あそび」の中にすべての要素が詰まっていると考え、習い事を取り入れず、非認知能力の育成を最優先にしている。 「行事」は子どもが成長するために必要だが、年齢、発達にそぐわない過度な行事をおこなわない。 おやこんぼ（ノーメディアデー）を理解できている。	2.12	
4		2.18	
5		2.73	
6		2.44	
7		2.45	
8		2.75	
9		施設の設備・環境は、教育・保育にふさわしい状態である。	2.06
10		集団生活の中で一人ひとりを把握し、個性に応じた温かい保育をしている。	2.31
11	園・クラスのおたよりは分かりやすく説明している。	2.24	
12	あゆみ園のホームページをよく閲覧している。	2.05	
13	気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛けている。	2.16	
14	保護者の要望や問い合わせに対して、園からの説明や対応は礼儀正しく対応できている。	2.24	
15	担任・担当から長時間保育担当の職員に、お子さんについての連絡など引き継ぎができています。	2.44	

自己評価を振り返り

3. 様々な環境を考慮し、選択肢などを与え、子ども自ら考える機会を作り「子どもの主体性を育む環境づくり」。

環境づくりを意識しているが、展開できるよう工夫が必要なところもあり十分ではない。子どもの思いを受け止め尊重しているつもりだが、時に保育者の都合で誘導してしまっていることがあるのではと反省する。

9. 施設の設備・環境は、教育・保育にふさわしい状態である。

作品BOXや個人ロッカーなど常に整理、整頓、清潔に保つことができれば良い。玩具の入れ替えなどをこまめにおこなっていなかったため、飽きて使わなくなった物を片付け、その時季、発達に合った玩具、道具を出して遊びが盛り上がるようにしていきたい。保育室の環境、玩具がこれで合っているのか不安に思うときもある。

10. 集団生活の中で一人ひとりを把握し、個性に応じた温かい保育をしている。

支援の必要な子への関わりや、クラス全体への関わりの優先。一人ひとりへの関わりが薄くなることもある。大きな声で呼んだり、否定的な言葉を使ってしまうこともあるので、しっかり子どもの話を聞き、一人ひとりに向き合っているようにしたい。

11. クラスのおたよりは分かりやすく説明している。

行事の案内の際、言葉の使い方で伝わり方が変わる場合があるので気をつけたい。

12. あゆみ園のホームページをよく閲覧している。

閲覧する時間があまりない。閲覧していなかったが、今後は閲覧し、他クラスや、あゆみ広場などの活動も把握していきたい。

13. 気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛けている。

登降園時は、時間によってせわしない印象を与えてしまっているのかもしれない。保護者の送迎時間や職員の勤務時間でずれ違いがあったり、他の保護者へ対応して言い出せなかったりしているのではと感じた。

保護者アンケートを通じての感想

あゆみ園の良さを自信を持って伝えていけるよう、保護者にわかりやすくアピールをすることを心掛けたい。挨拶や表情等も意識して丁寧に保護者、園児と関わっていききたい。前年度のアンケート結果より、担当制に対して理解してくれる保護者が増え、うれしく思う。開園して2年目。様々な意見や課題があると感じた。より良く保育できるよう現場とも話し合い、あゆみ園らしい環境づくりを心掛けたい。全体的に安心して預けていただいている様子が感じられた。感謝のコメントにうれしく思う。貴重な意見を目にする事で、自分自身の保育と向き合い、より保護者との信頼関係を築けるよう努力しなければならない。保護者対応の難しさを改めて実感した。育てたい姿を明確にし、保育を進めていきたい。人間で一番大切な時期に関わらせてもらっていることを改めて心に留めて保育していきたい。栄養バランスについては保護者に理解していただいているようで、今後も手作り、栄養バランスを大切に給食を作っていきたい。

給食アンケートを通じての感想

朝食の大切さをもっと保護者に伝えつつ、園児を通じて啓発できるよう取り組んでいきたい。家でも給食に関する話題が出ているようでうれしく思う。献立作成も給食職員同士で話し合い、意見が割れることもあるが子どもの成長に何が必要か考えて季節に合った食材を採り入れている。